

こうび かわきし くさ ちい
 土のすんだメスは、川岸のコケや草に0.5mmほどの小さな
 たまご う つ いっぴき こ
 卵を産み付けていきます。一匹につき500~1000個くらい
 の卵を産みます。だいたい1ヶ月でふ化が始まり、ふ化した
 ようちゅう かわ はい かわそこ いし した もく こ
 幼虫は川へ入り、川底の石の下へ潜り込みます。
 たまご ぜんたいてき はっこう
 ホタルの卵は、全体的にかすかに発光しています。

つち なか うか そと と た かぜ
 土の中で羽化したホタルは、やがて外に飛び立ち、風のな
 む あつ よる ひか みすべ ちか と
 い蒸し暑い夜に光りながら水辺の近くを飛びまわります。
 せいちゅう みず の なに た しゅうかん
 成虫は水を飲むだけで何も食べません。わずか1~2週間
 いのち あいだ こうび たまご う ひるま かわ
 の命で、その間に交尾し卵を産みます。昼間は、じっと川
 ぎし くさ き は かく
 岸の草や木の葉のうらに隠れています。

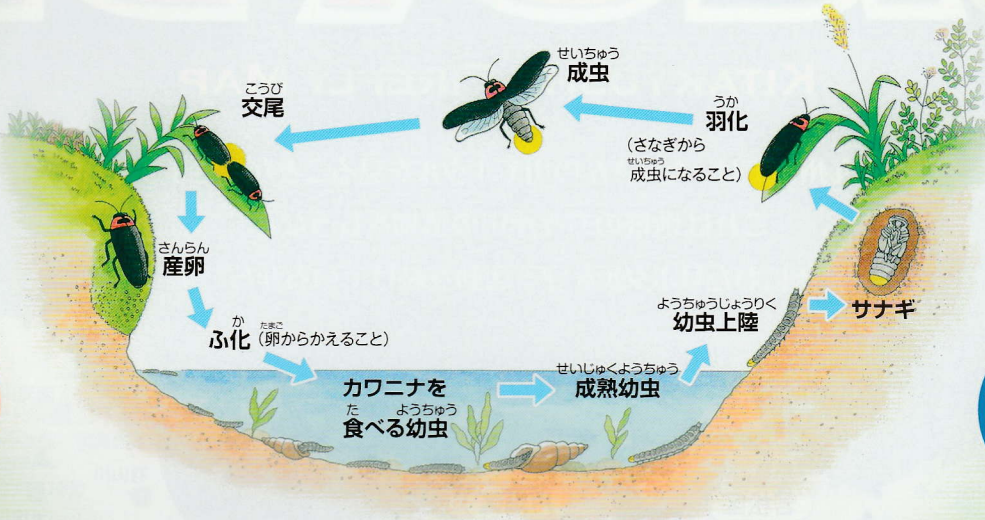
ゲンジボタルの一生

さんらん
**産卵と
 ふ化**
 がっこう
 [6~7月頃]

せいちゅう
成虫
 がっこう
 [5~6月頃]

ようちゅう
幼虫
 がっこう
 [8~3月頃]

サナギ
 がっこう
 [3~5月頃]



ようちゅう ま がい なかま ようちゅう
 ホタルの幼虫のエサは、巻き貝の仲間のカワニナで、幼虫は
 しょうかえき た にく と た
 消化液を出してカワニナの肉を溶かして食べます。2mmほど
 う ようちゅう じふん おお
 の生まれたての幼虫は、自分のからだの大きさにあったカ
 ワニナを食べて成長し、5~6回の脱皮のあと、20~30mmの
 おお そだ せいちゅう かい だっぴ
 大きさまで育ちます。
 ようちゅう はっこう とく じょうりく つよ ひか
 幼虫も発光し、特に上陸のときに強く光ります。

ようちゅう あめ ふ あたた よる ひか かわ
 サナギになる幼虫は雨の降る暖かい夜に、光りながら川か
 らはい上がります。
 じょうりく ようちゅう つち えんけい
 上陸したホタルの幼虫は、やわらかい土にもぐり、だ円形の
 へや つく うご じき
 部屋を作って、サナギになります。じっと動かない時期で
 あいだ むし ようちゅう そら と かたち
 が、この間にいも虫のような幼虫から空を飛ぶホタルの形
 へかわっていきます。

ホタルと水辺環境

ゲンジボタルやヘイケボタルは幼虫の時期を川で過
 ごします。ホタルが育つには、酸素をたくさん含んだ
 みず へんか と なが なつ
 きれいな水が変化に富んだ流れをつくり、夏もあまり
 すいおん あ かわ たいせつ
 水温が上がらない川であることが大切です。そのよう

な川には、エサとなるカワニナも多いのです。また、
 ホタルの成虫は川岸の草むらなどで休息します。卵は
 みすきわ くさ う つ
 水際の草などに産み付けられています。ホタルのため
 につく くさか ひか
 に、3~7月は草刈りを控えましょう。

小倉北区



●北九州市ほたる館

〒809-0864 北九州市小倉北区熊谷2-5-1

TEL・FAX 093-561-0800

■開館時間 9:00~17:00 ■入場無料

■休館日 毎週火曜日、年末年始 [火曜日が祝日の場合はその翌日]

八幡西区



●香月・黒川ほたる館

〒807-1103 北九州市八幡西区香月西4-6-1

TEL・FAX 093-618-2727

■開館時間 9:00~17:00 ■入場無料

■休館日 毎週水曜日、年末年始 [水曜日が祝日の場合はその翌日]